

## 令和4年度 第2回学校運営協議会 報告

- 1 会議 令和4年11月24日（金）15：30～17：00
- 2 出席者 比嘉委員、山本委員、中田委員、大元委員
- 3 次第
  - 1 会長挨拶  
多くの内容があるので皆様のご協力のもとすすめたい。よろしくお願ひしたい。
  - 2 校長挨拶  
生徒の成長を感じた体育祭、本校が地域で果たす役割。みなさまのお力をお貸し願ひたい。

### 3 協議

#### (1) 本年度学校経営計画の進捗について

- 1 授業の充実  
ICT環境がある程度整った中、今度どう活用していくのが課題。  
新学習指導要領の実施 観点別学習評価のスタート  
授業見学週間を年2回設定 授業について意見交換  
パッケージ研修 取り組みを継続して北千里の強みにしていく  
スタディサプリ導入を決定  
個々のペース、得意不得意に合わせた外部学習支援サービス
- 2 豊かな人間性の育成  
生徒たちが課題をこなせているのか（1日24時間で足りているのか）  
学校生活にリズムをもって積み上げていくことができているのか  
将来構想委員会  
若手教員を中心に学校の課題を語り合う場  
いろいろ感じていることを全体に問いかけたり吸収したりしていく  
学校の課題についてアンケートを実施
- 3 地域から信頼される学校づくり  
地域の協力を得ながら生徒が地域（外）へ出てける機会  
小学校との交流 小学生に教えることの難しさからの学びなど

#### (2) 学校の取組について

- 各分掌・学年等からの報告（別紙資料）
- パッケージ研修  
めざす北千里生像を教員各自が考えたものを、8つのグループでまとめて発表  
教科主任会で一つの方向にまとめていく  
各教科で各学年の到達目標を設定、各教科代表が研究授業・研究協議を行う  
1月に研修のまとめを全体会で共有して来年度へつなげる
- スクールミッション  
学校の地域での存在価値は何か、どのような生徒を育てるのか  
将来構想委員会で作成したもの（別紙資料）

#### 【委員からの質問・提言】

- ・北千里高校は地域から期待されている  
チャレンジデイなど地域での活動に参画した生徒の感想をフィードバック。情報共有して共感。地域へ出て成長した！という実感が持てるか。

- 何のために勉強するのか。  
それがわかった瞬間に勝手に燃えていく。スイッチを押してやることは、学校で出来ることと地域で出来ることがあるのではないか。どんなことができるかを学校で考えてもらって、ここは助けて欲しいということを書いてもらえたら！（先生の負担を増やさない案をお願いしたい。先生の負担が増えるものはすべて反対。）
- 一人称（自分事）であるか？  
高校時代に海外に飛び出して学んだときに、身をもって人種差別を感じた。大事な自分事としてとらえられているか。  
今の生徒たちが日本の企業で働くのか？仕事の相手は海外の人であることも多いはずその時に問われるのは、出身大学ではない。あなたと私が仕事をして1+1=2以上になるか？を問われる。
- 生徒は真面目過ぎ？（角がない）  
信念を持って自分の意見を言えるか。「失敗があっても大丈夫。」
- スクールミッション  
「強く 正しく 明るく」昭和の強いと令和の強いは少し違う？  
「強い」とは、どのような強さ？強いとは、どのような強さ？具体的なイメージを作ること一つの方法ではないか
- ICTの活用 デジタルシチズンシップ  
マイナスの使い方をしてしないための教育もすすめてほしい。有効な活用のために。
- 各教科での研究授業  
他教科から言いにくいとかはないか？  
→いいところを見つけてプラスに働く研究協議になるようにしている  
研究協議の種類 超辛口 辛口 ちょっと甘口 甘口 を授業者が選べるようにする（工夫の例）
- 高校選び  
同じような思いを持った子どもがいる（真面目な子が多い→安心）
- 地域連携  
学校にはがんばって来ている（緊張や不安）  
地域では家とも学校とも違う自分がいる（学校はある意味守られている）  
地域に出て、地域の人にほめてもらうこと、アドバイスもらうこと  
地域で何をする？どんな貢献が出来るか？を考えることで、コミュニケーション、企画力を身に付けることができる